

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (甲信越)	◎	商店街（代表者）	お客様の様子	・前年に比べて、年末の人の流れが多くなっている。
	◎	都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・年末年始を中心に、早い時期から多くの予約を受けており、その期間以外も、平日に多くの利用がある状態が続いている。明らかに、以前より動きが活発で、受入ができなほどの状況が続いている。しかし、新型コロナウイルス禍前のような100名前後の団体利用はほぼないことが気になっている。
	◎	都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・12月の宿泊の結果をみると、新型コロナウイルス以前より売上がプラスとなっている。過去5年間と比べても、12月単月売上で1番である。また、クリスマスディナー企画では、1人2万円のディナーがあつという間に完売している。
	◎	遊園地（職員）	来客数の動き	・前年秋は、来客数が新型コロナウイルス以前に向けて回復傾向となっていた。新型コロナウイルス新変異株の流行によって新規感染者数が増加傾向にあるものの、前年よりは、新規感染者数も減少していることで、徐々に来客数、景気いずれも回復傾向にある。
	◎	その他サービス〔葬祭業〕（経営者）	お客様の様子	・以前は新聞広告を見て電話をしたという客がほとんどだったが、最近はインターネットやスマートフォンを見て連絡をしたという客がほとんどになっている。こちらも世代交代が進んでいると思う。
	○	一般小売店〔家電〕（経営者）	来客数の動き	・年末セール等、客の動きが少しずつ良くなってきている。
	○	一般小売店〔薬〕（経営者）	お客様の様子	・客との話で、「少しずつ景気が良くなってきた」という声が多く聞かれる。
	○	スーパー（店長）	来客数の動き	・12月の売上は、前年と比べるとかなり回復してきている。
	○	スーパー（副店長）	それ以外	・新型コロナウイルス新規感染者の減少により、年末年始の帰省や観光客が増加し、景気が一定の上向きをみせている。ただし、今後の感染状況次第では、再び自粛傾向が強まる。
	○	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・帰省者が増加し、規制も緩和されているので、やや良くなっている。
	○	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・3か月前と比べて、1日平均の来店客数が増えている。
	○	その他専門店〔酒〕（店長）	来客数の動き	・3か月前と比べるとかなり良くなっている。特に、12月半ばから飲食店もまんべんなく動いてきて、30日も休まずに動いているようである。
	○	高級レストラン（経営者）	単価の動き	・新型コロナウイルス新変異株が感染拡大第6波を招きかねないこともあり、県外への旅行ははまだ自粛ムードがあるようで、高額な食事コースの予約が好調である。
	○	観光型旅館（経営者）	販売量の動き	・例年12月は、企業、官公庁、病院、学校等団体の忘年会があるが、今年は4～6名程度の懇親会は認めているものの、会社や役場、病院、学校単位の宴会は、中止されて全くない。そのため、例年と比較すると良くないが、新型コロナウイルスの感染状況が落ち着き、県民割引等による需要があるため、9月頃と比較すると、やや良くなっている。
	○	都市型ホテル（従業員）	来客数の動き	・観光やビジネス利用の宿泊客が増加傾向にある。
	○	旅行代理店（副支店長）	販売量の動き	・緊急事態宣言が解除され、旅行需要が増加し始めている。特に、個人旅行が増加している。
	○	タクシー運転手	販売量の動き	・12月は元々売上の良い月だが、今のところ、前年比115%、前々年比ではまだ84%である。新型コロナウイルスの動きが収まるかどうかで、大分変わる。
	○	通信会社（社員）	販売量の動き	・キャンペーン特需で、ここ数か月と比べて契約数では上回ってきている。ただし、一時的な施策でしかないため、繁忙期である年度末へ向け、いかにこの状態をキープできるかが課題である。

○	その他レジャー施設〔ボウリング場〕（経営者）	来客数の動き	・県内の新型コロナウイルス新規感染者数ゼロの日が多くなっている。少しずつではあるが、団体の予約も入るようになってきている。
□	商店街（代表者）	販売量の動き	・当市の一等地にある商店街の店だったが、郊外に大型店ができてから、客は郊外店に移ってしまっている。スポーツ用品を扱っているが、一般向けの商材は段々少なくなって、学校専門的になってきている。小売と余り関係ないような状態で、春先になるのを待っている。
□	一般小売店〔家電〕（経営者）	お客様の様子	・自治体発行のプレミアム付き商品券等による商材の動きはあったものの、全般的な動きは今一つである。消費意欲が見えてこない。
□	スーパー（経営者）	来客数の動き	・来客数が減少し、客単価は上昇しており、前年比ではマイナスも、前々年との比較でのプラス傾向は変わらない。
□	スーパー（経営者）	来客数の動き	・前年比で売上は11%減、来客数は13%減となっている。固定客の移転や病気、銀行の店舗閉鎖で、来客数が減少し、売上も減少している。新型コロナウイルス新変異株も登場しているが、少しずつイベントを再開している。日々の来客数の減少が痛い。
□	コンビニ（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で、動きは余り良くない。これから寒さも厳しくなってくるので、来客数が少し減るとみている。
□	コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で、来客数が少ない。
□	コンビニ（店長）	お客様の様子	・今月は、新型コロナウイルスの感染状況がかなり落ち着き、良くなるかと思っていたが、今までの状況に客が慣れているようで、購買意欲が上がるような特別な変化にはなっていない。
□	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルス変異株が終息し始めたと思ったら、新変異株は出てくるし、寒さのせいもあるのか、客足が鈍い。
□	家電量販店（店長）	来客数の動き	・集客数が前年比8割と落ち込んでいる。
□	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・新車受注は回復傾向だが、半導体不足による新車供給遅延により、販売台数が伸びない。
□	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・新車納期の遅れから、なかなか契約に結び付かない。また、人気中古車の仕入価格高騰で、客との商談が思うように進まない。半導体不足の影響はまだしばらくは続きそうである。
□	自動車備品販売店（従業員）	来客数の動き	・来客数及び客単価共に前年を下回っており、景気は余り変わっていない。
□	一般レストラン（経営者）	販売量の動き	・若干、足踏み状態である。
□	スナック（経営者）	お客様の様子	・地方では、新型コロナウイルスの影響が本当に大変である。今のこの状態に慣れた客が多いので、これからもこのまま変わらないのではないかと心配している。
□	通信会社（経営者）	お客様の様子	・年末にかけても、例年より新規加入者が少ない。
□	観光名所（職員）	来客数の動き	・積雪が早く、近隣のスキー場は早々にオープンしたものの、日帰りのスキーヤー、ボーダーが多く、宿泊や買物に結び付いていない。
□	ゴルフ場（経営者）	お客様の様子	・降雪がないことから、順調に来場者は増加しているが、忘年ゴルフやコンペの減少傾向は以前のままである。ただし、新型コロナウイルス新変異株が拡大傾向にあるなか、当県の新規感染者が少ないことから、年配者も元気な様子でプレーしている。
□	その他サービス〔貸切バス〕（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの新規感染が落ち着いてきたと思ったら、新型コロナウイルス新変異株が出てきて、販売が停滞してきている。
□	設計事務所（経営者）	単価の動き	・建築資材の値上がりと納期遅れで、現場の進捗状況に影響が出ている。

	<input type="checkbox"/>	設計事務所（経営者）	来客数の動き	・依頼数は減っており、相談物件もなかなか計画が進まない。
	<input type="checkbox"/>	住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・別荘の購買意欲に変化はなく、やや良いままである。
	▲	商店街（代表者）	来客数の動き	・クリスマスや年の瀬を、街中では全く感じられない。新型コロナウイルスの影響もあるだろうが、中心街と呼ばれた場所への客足は低調のままである。
	▲	スナック（経営者）	来客数の動き	・10～11月と上向いてきていて、この調子でいけば暮れには2年ぶりに忘年会の予約も入りそうだと喜んでいたら、新型コロナウイルス新変異株と報道され始めた途端に、すっかり元通りに冷えきってしまい、忘年会どころかフリーの客もほとんど来ない状況で、ちょっと心が折れそうである。
	×	その他サービス 〔クリーニング〕（経営者）	販売量の動き	・クリーニング業界全体が非常に悪く、売上も上がらず、前年度割れしている現状である。
企業 動向 関連 (甲信越)	◎	その他製造業 〔宝石・貴金属〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・12月催事での集客や売上はともに好調である。新型コロナウイルスの影響下でも、客との接点を持ち続けた店は催事でも好成績を残しているが、店によってはいまだに閑散としているところもある。高額品も徐々に売れるようになってきている。
	○	食料品製造業 （製造担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスが少し落ち着いて、売上は微増傾向になっている。
	○	食料品製造業 （営業統括）	受注量や販売量の動き	・業務店や一般酒店への出荷が前年より活発になっている。また、工場への来場者もかなり回復してきているが、新型コロナウイルス以前よりは減少している。
	○	食料品製造業 （総務担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数が減少し、経済が回り始めている。
	○	金融業（経営企画担当）	取引先の様子	・飲食や観光業は、インバウンド需要の恩恵はいまだに受けられていないものの、国内観光客の戻りは顕著に表れてきている。他業種も、新型コロナウイルス禍の影響は徐々に薄れ、以前の活況を取り戻している企業も多数見受けられる。
	○	新聞販売店〔広告〕（総務担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルス新変異株の市中感染の影響は、今後出てくると予想されるものの、現状の取引量は微増してきている。人の動きも少しずつ戻っている。
	<input type="checkbox"/>	窯業・土石製品製造業（経営者）	取引先の様子	・取引先の受注は、相変わらず低迷したままである。
	<input type="checkbox"/>	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・資材不足や価格の高騰、納入の不安定化が続く限り、受注も積極的にできないため、問合せも減少してきている。
	<input type="checkbox"/>	金融業（調査担当）	取引先の様子	・製造業では半導体不足の影響や材料価格の高騰があるものの、需要は堅調さを維持している。非製造業では観光関連が上向きつつあるが、水準としてはまだ低い。
	▲	電気機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・今まで材料が順調に入っていた企業でも、供給が悪くなってきている。
	×	—	—	—
雇用 関連 (甲信越)	◎	—	—	—
	○	職業安定所（職員）	求人数の動き	・ほとんどの業種で求人が増加している。
	○	職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・どことなく活気が感じられるようになってきている。
	<input type="checkbox"/>	人材派遣会社（営業担当）	雇用形態の様子	・新型コロナウイルス対策事業による短期的雇用のため、12月末から3月までの契約終了が多く、派遣事業に関与する人たちからの相談がますます増えると予想される。
	<input type="checkbox"/>	民間職業紹介機関（経営者）	求人数の動き	・転職情報過多の現状から、簡単に転職を考える希望者が多い。何かあれば辞めればよいといった風潮が定着している。正社員採用にはより検討を深める採用者側の現状が続く、結果として採用不足感があり、求人数を押し上げている。
	▲	—	—	—
	×	—	—	—